

20 添総第 351 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

添田町長 山 本 文 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の
件について、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県添田町

道路政策は高度な計画と効率的な実施のもとに成り立つということに鑑みると、道路整備を促進し物流の効率化や活力ある地域づくり、安心して住める豊かな生活環境の実現を図るためには道路整備財源の安定確保が欠かせない。

しかしながら、平成21年度からの道路特定財源の一般財源化が閣議決定されたことで、道路整備に対して大きな不透明感が生じ地方自治体は大きな不安を抱いている。また、この閣議決定がされたことを具体化するため、道路特定財源等に関する関係閣僚会議が設置されているが、未だ具体的な方策が示されていないことは遺憾である。必要性の高い道路については確実に整備するという確固たる方針と地方自治体の不安を払拭する財源確保の方策を早急に示すべきである。

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県添田町

○現状 添田町 本町は広域な行政面積を有するため、交通ネットワークの整備が地域浮揚の重要なカギを握っている。 道路状況は国道５００号の他、主要地方道４路線と一般県道９路線で骨格が形成されているが改良率・舗装率とも十分とはいえない。 筑豊地区 旧産炭地域である筑豊地域は、交通体系の整備の遅れが地域の発展及び景気浮揚の妨げとなっている。 国道３２２号は全体的に道路幅員が狭いため、国道としての機能が十分に発揮されていない現状であり早急な対応を迫られている。	○課題 添田町 観光地への余暇利用客の増大が期待される本町にとって、道路整備は喫緊の課題である。特に国定公園英彦山周辺の国道５００号の拡幅整備が急務である。 筑豊地区 雇用機会の拡大や物流経済活動を向上させ、地域の浮揚を図るためには幹線道路の整備により福岡都市圏や北九州都市圏までの所要時間を短縮させる必要がある。 産炭地域振興計画の柱のひとつである工業団地への企業誘致のためには、国道３２２号バイパスの全線開通は絶対条件である。基幹産業の輸送力を増大させ、地域活性化に結びつけるには是非とも整備しなければならない。
--	--

添田町

国道及び主要地方道等の幹線道路の整備により、本町の基幹産業である農林業の活性化と企業誘致による地域浮揚を図るとともに遊休宅地等を有効活用した定住促進事業の推進と併せて、情報格差を解消するため町内全域に光ファイバーを敷設しインターネット環境の整備を行うことで「住みたくなる町 そえだ」の実現に邁進したい。

筑豊地区

福岡・北九州両都市圏へのアクセスの向上による交流人口の増加と物流を通じた経済活動を活発化させるとともに、工業団地への企業誘致の促進により地域の活性化につなげたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県添田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・災害対策	災害多発地域への監視カメラの設置と町へのリアルタイムでの情報提供、隣接自治体との情報交換（光ファイバーの活用を模索）	災害に対する初期対応の強化と住民への迅速な情報提供により、安心して暮らせるまちづくりを実現できる。	
・地域活力の向上	道路整備の充実による流入人口の増加と地域間交流の促進、基幹産業の充実を目指した個性ある特産物や農産物の開発	流入人口が増加することにより地場産業の活性化と定住人口の増加に期待するとともに地域の浮揚を目指す。	